

前奏 黙想	祈 禱
讃美歌 57 みさかえ こよなき	讃美歌 532 ひとたびは死にし身も
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 ダニエル書 12:7~9	黙 禱
ヨハネによる福音書 1:19~23	主の祈り 564
讃美歌 II-157 この世のなみかぜさわぎ	頌 栄 541 父、み子、みたまの
説 教 『道ぞなえ』	祝 禱 後 奏

権威者からの使者が、洗礼者ヨハネに「あなたは、どなたですか(ヨハネ 1:19)」と尋ねた。「偉大な預言者エリアの再来か、待ちのぞまれているメシアか(1:20~21)」と問うが、いずれも否。するとヨハネは預言書を引いて答えた(イザ 40:3)。「わたしは荒野野で叫ぶ声である。〔主の道をまっすぐにせよ〕と(ヨハネ 1:23)」。ヨハネの働きは言うまでもなく、イエスが世に現われるための道備え(1:26~27)。

ヨハネによるイエス到来の道備えは、私たちには過去の出来事。それが歴史の流れだが、ヨハネの道備えは、教会にとって終りの日に再臨されるキリストの道備えとして重ね見られるのではないか。イエスは弟子たちにこう告げた。「しばらくすると、あなたがたはもうわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる(16:16)」。弟子たちにはこの意味が分らない(16:17~18)。イエスは更に語る。「今はあなたがたも悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる(16:22)」。これは数日後の復活の事か、それとも終りの日の再臨の事か。

イエスとの再会は復活の奇跡を近景にして、遠景に終りの日の再臨があるのではないか(16:26)。イエスの到来も復活も過去だが、再臨は現代でもなお未来。その未来に向けてイエスは祈る。「父よ～彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります(17:21)」。この祈りの通り、私たちは神とキリストの内に迎え入れられている。そして聖霊の風に吹かれ、終りの日の平和のためにキリスト再臨の道備えをしている。

内村鑑三はこう言った。「非戦を唱えて、我らは洗礼者ヨハネのごとくに主のために道を備うるのである。ゆえに、われらの非戦の声も、ヨハネの悔い改めの声のごとくに〔荒野に呼ばわる声〕である(戦争廃止に関する聖書の明示)」。内村のように私たちも、平和のために「荒野に呼ばわる声」を発する。「憎しみ争いを捨て、愛をもって仲良くやりましょう」もいいが、自らと世に悔い改めを迫る「荒野に呼ばわる声」なのだ。「主の道をまっすぐにする(1:23) 道備えは喜びだが、摩擦や衝突も起こる。

日露戦争への徴兵拒否を訴えた弟子 S に対して内村は、若い熱情が引き起こす危険を心配し「平和は反戦論者が思うような〔地的・肉の平和〕を目的とする浅薄なものではない」と翻意を促した。ところが後日内村は迷った末に「もし良心の命令であるならばやりたまえ」と S に伝え、実行するなら「全く人に告げず、人に問わず、友にはからず～責任を自分一人で負うて行こうべき」と戒めた。「主の道をまっすぐにする」働きは、集団の興奮に乗って声あげることではない。洗礼者ヨハネのように御旨を一人で淡々と受け取る事。教会は共同体だが、各々がキリストの孤独に与り、自らを決定する。

「終わりはどうなるのでしょうか(ダニエル 12:8)」と尋ねる預言者に主は答える。「ダニエルよ、もう行きなさい。終りの時までこれらの事は秘められ、封じられている(12:9)」。終わりの時に向かって戦争があり(11:27)、社会変動も数多あろう(11:35)。だが私たちは己が無力を嘆かない。「聖なる民の力が全く打ち砕かれると、これらの事はすべて成就する(12:7)」のだから。私たちは紛争に消沈せず道備えを続ける。「勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている(ヨハネ 16:33)」という声を聞きながら。

再臨を待つがゆえに復活は過ぎ去ったものではない 未だキリストの歴史のただ中で呼吸している夢に矛盾を覚えないように 不条理は有るがままに在る 死と生の方向も 下流になり上流になる  
 本日は第三主日ですが掃除は次週 8/27 にします。8/23(水) 11:00~12:00 聖研・祈祷会。2/27(日) 2:30~4:30 松本の波田教会と Zoom(LGBTQ の継続的な集会)。牧師の動き:8/22 刑務所で個別教誨 3 件。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。